

藤棚新聞



第28号
発行
2013年 2月20日
藤棚新聞

若いママはお店の情報が欲しい！

藤棚地区の商店街ではまちを元気にしようと、伝統的なへそまつりや縁日などを軸にいろいろな工夫がされています。藤棚新聞でも、ばあばの家(代表中村久子さん)の協力を得て、過去2回(2011年9月と2012年12月)ここを利用している若いママに商店街でもっと便利に楽しく買い物をするためにはどんなことをしたら良いかをお尋ねしました。この中で強く要望されたのは、「お店や商品の情報が欲しい」、「足回りをもっと便利にして欲しい」ということです。

食べ歩きができるお店や逸品の情報を商店街マップとして、掲示板に吊るして欲しい。
シャッターが閉まっている店が多い。とにかく開けて欲しい。開けてあるだけで明るくなる。
営業しているようだが扉を閉めているお店は、何があるのか、お客がいるのかわからない。

お店で買い物をしているときに、お店の人やお客同士でコミュニケーションをしたい。

ちょっとした息抜きスポットが欲しい。

シャトルバスを普段に走らせて欲しい。

御用聞きが欲しい。そこで屋号を指定して買い物がしたい。

引き売りが欲しい。

高校生を商店街に入れてお店で売らせたらいい。

お店で商品が高い位置に置いてあるのは、見るのが大変。手にとれる位置に置いて欲しい。(写真右は藤棚商店会からLMT方面を望む)



気になるお店シリーズ

ブランカスター



リサイクル・コンシェルジュのブランカスターは藤棚交差点のそばにあって、お店の前に行くときれいな赤い看板が目につきます。一步店内に入ると陶器、雑貨や洋服など食品を除いて、生活に関連した品物が所狭しと並んでいます。

お店の大橋さんがにこやかに迎えてくれて「笑顔でお客さまを迎えて、気持ちを込めて接客します。いつきてもきれいな品物と店があって、自分が欲しいものと出会った時の喜び、それは宝さがしの

ようです」と言います。「安いお手頃価格ですが、お客さまには無理に勧めない。そして私たちはお客さまの名前を覚えます。お客さまの年齢の幅は広くリピーターが多いのも特徴です」ととても楽しそうに話すのが印象的でした。最後に、「賑やかな商店街にするためにイベントをやってほしい。ことに縁日やおみこしが出るお祭りでは、こんなに人がいるのかと思う。」と期待していました。

西区中央2 - 7 - 10 TEL: 045 - 290 - 3390 AM10:00~7:00



鈴木太郎さん (サンモール西横浜商店街

鈴木似顔絵教室)



今回は、久保町にお住まいのイラストレーター、鈴木太郎さんにお会いしました。いまでは、すっかり有名人の鈴木さんは、伊勢佐木町で生まれて5歳から西区で育ちました。在住歴は65年になります。

この仕事を志す原点は、西前小学校時代に出会った当時の人気漫画だそうです。「鉄腕アトム」「イガクリくん」がお気に入り、やがて自分でも真似をして書くようになりました。いったん就職したものの、デザイン学校に通って卒業して、家業の菓子の小売を手伝いながら絵を描き続けました。「イラストの仕事で活躍できる時代に、知り合いの紹介で仕事に恵まれ、運がよかった」と感謝の気持ちを忘れない鈴木さんに謙虚で気さくな人柄がうかがえます。1991年から現在の場所に、通りから室内が見えるスタイルの事務所を構えました。「商店街に育ち、周りは職人さんの店があり、仕事の様子が外からわかるような形が自然に浮かんだ」そうです。

朝日新聞などにも連載をこなしてきた鈴木さんは、現在稲荷台小学校コミュニティハウスで「似顔絵教室」を、藤棚地区センターで「横浜風景イラスト教室」を毎月1回ずつ開催中です。「興味のある人は、ぜひ参加してください」と言っています。

これからの予定を伺うと、「サンモール西横浜商店街」の店主みなさんの似顔絵を制作中とのこと。楽しみです。



去年のさくらフェスタ

さくらフェスタ

3月30日～4月7日

今年もみなとみらい周辺での開催が予定されています。みなさまどうぞお出かけください。

こんにちは、グループ！ 折紙と新聞ちぎり絵会

折紙と新聞ちぎり絵会は、女性の問題に取り組んで、いわさきちひろさんらの呼びかけで発足した国連NGO「新日本婦人の会」の1サークルです。仲間で見たり、自分たちで教え合いながらやっています。お手本を見ながらああでもない、こうでもないとも手も口も動かしながら賑やかです。折り紙のお手本を見て、ほんとうによく考えて作っていると感心させられました。



去年10月から始めた新聞ちぎり絵は、新聞の色のついた部分を再利用してちぎって貼り付けます。いろいろな色が混じって立体感や趣がでできます。環境に優しくエコロジーおまけに費用もかかりません。出来上がりを見ると、色の混じりあいは何とも言えない心地よさを感じさせます。

活動は稲荷台コミ八で、毎月第3または第4火曜日の午後です。問合せは、045-241-6883(鳥羽さん)にどうぞ。

(作品の上は「パンダ」折紙、下は「猫」新聞ちぎり絵)

コラボで広がる地域の輪* 第11回 西区街の名人・達人まつり

年を追うごとに内容を高めてきた西区街の名人・達人まつりは、2月23日10時から藤棚地区センターで開催されます。今年は、ダンス、江戸紙切りなどたくさんの催しに加えて、地元商店街から今井蒲鉾が模擬店に、みらい工房西がフリーマーケットに参加して、地元杉之子幼稚園児の舞台発表があります。また、藤棚1番街や横浜信用金庫が広告協力する他、藤棚新聞でも明治学院大学と協力して学生のボランティアの参加をします。主催するにしく名・達の会の高野会長は「地元との交流を深め、共に元気になりたい」と話します。



藤棚1番街の
色あざやかなシクラメン



熱心な事前
打ち合わせ



信頼し合うためのコミュニケーションカアップ

西区社会福祉協議会で、(株)NLPインスティテュートから教育部研修部マネージャー宇田川昌子さんを講師に招いて、お互いが信頼を深めるための「コミュニケーションを学ぶ」講座が1月31日に開催されました。当日は、子育て支援、精神障害者・外国人・高齢者関係のボランティアや地域自治会の方も含めおよそ30名が参加して、コミュニケーションへの熱い期待が溢れる会場となりました。

宇田川さんはご自身の経験を交えながら、NLPの基本前提を「人の尊厳を大切にすること」「コミュニケーションとは相手の意欲を引き出すこと」とした上で、信頼関係の構築(ラポール)は相手を受け取ることから始まると、さまざまなコミュニケーション技術を話しました。地域でのコミュニケーションカアップにも役立つでしょう。

NLP : Neuro Linguistic Programming [=神経言語プログラミング] は、ジョン・グリンダー (言語学者) とリチャード・バンドラー (心理学を学ぶ学生) が提唱したコミュニケーション技術



らくらく大人のエコ料理

短い時間で簡単にできて家事も助かるヘルシーな時短料理を学ぼうと、にしく市民活動支援センターの主催で「らくらく大人のエコ料理 講座の第1回目」が、横浜駅近くの「観環居」で1月18日に開かれました。この講座は、ボランティアや地域活動に今まで参加していなかった方に地域活動の第一歩を踏み出してもらおうというもので、だれ



(にしく市民活動支援センター提供)

でも参加できるとセンターは呼びかけています。

当日は栄養士の長谷川講師による食の話聞いて、コンビニ袋などを使って講師が作った時短料理を試食しました。第2回目は2月21日です。お問合せは、にしく市民活動センター(045-320-8396)へどうぞ。

鬼は外！福は内！ 「円満寺豆まき」

円満寺で2月3日恒例の豆まきが行われました。集まった約300名に及ぶ人たちの、熱く楽しい、豆や菓子などの取り合いでした。室町時代から続くとされる邪気払いの行事です。ところでみなさん、円満寺での参拝は済ませたのでしょうか。(F)



秦万里子が藤棚1番街にきた！ 作曲、即興生演奏

テレビ番組tvk「ありがとッ！」の人気コーナー「秦万里子の半径5メートルをもっと明るく」が1月31日、藤棚1番街にやってきました。秦万里子さんが『藤棚1番街の歌』を即興生演奏しました。放送は、3月14日(木)13:00頃のtvk「ありがとッ！」です。



熱唱する秦万里子さん

即興の藤棚応援歌(抜粋)

”藤棚の子供たちから オヤツもらったよ”

”子供も大人も宝物
みんなで盛り立てよう商店街
藤棚で 楽しいお買い物
また来ちゃうかも 藤棚
素敵だな 美味しいな
楽しいな 素敵だな 藤棚”

藤棚俳壇・選者 三村風彦

藁苞に童の幻寒牡丹
鳥雲に杭一本のピオトープ
黒田ゆき糸
屋根に雪雫にリズムまちの朝
近藤廣子
足場組む上空を鳥雲に入る
高橋沈丁
雪だるま土を織り込み渋い顔
雨宮則子
眠れずに北風の音のみ響く夜
荒川文字
初詣合わせる両掌に福を溜め
小泉道子
《寸評》藁苞(わらづと)は藁を編んで作った
苞で、寒牡丹を雪や霜から守るために、困って
いる。この藁苞が北国の雪降る日、幼児の頃の童
子の被りものに似て見えたのだ。

*

投句 当季雑詠で一人2句まで、氏名、
連絡先を記載して。次回締切三月二十日。
巻頭句には粗品を進呈。
Eメール: fujidananp@m.jcnnet.jp
FAX : 045-895-0081

(株)三河屋かみや
酒、ワイン、焼酎など酒類全般
人気沸騰！
石川県の銘酒 **遊穂**
(ゆうほ)
tel 045-321-6212
月~土 10:00~19:30
日、祝は留守番電話
横浜市西区中央2-12-2

**手造りで60年
三代目も頑張っています**
横浜金沢区小柴漁港
の新鮮な魚を使って
います
地元の恵を楽しむ
手造りさつま揚げ
電話 045(321)7876

訂正について

2013年4月23日

「さくらフェスタ 3月30日～4月7日」記事中に掲載した写真の説明について誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤	正
去年のさくらフェスタ	去年のさくらフェスタ (にしく名・達の会提供)